

今号の紙面から

三鷹ネットワーク大学プレ講座一覧2
平成17年2月からごみの出し方が変わります3
三宅島帰島に向けた義援金4
若年層対象みたか就職面接会5
展示を再開・中近東文化センター8
しょうがい者作品展作品募集9
保健所の一部業務が市の事業に10
成人式実行委員を募集11

平成17年度半ばに本格開講予定！ 「三鷹ネットワーク大学(仮称)」 プレ開講講座にご参加ください！

「三鷹ネットワーク大学(仮称)」は、市に協力する13の教育・研究機関と協働し、三鷹に関連する地域資源を活用して、様々な知的創造の場をつくることを目的としています。

市では、平成15年度に「あすのまち・三鷹」推進協議会の検討委員会から提言を受けた「三鷹ネットワーク大学(仮称)構想」について、検討委員会に参加した教育・研究機関の協力を得て、平成17年度半ばの開講に向けた準備を行っています。

来年度に予定している本格的な開講に先立ち、本年10月からは市民のみなさんへのPRを兼ねた「プレ開講」として、試行的に3つの講座を開講します。みなさん、どうぞご参加ください！

⇒ 企画経営室「あすのまち・三鷹」プロジェクト担当 ☎ 内線3291

参加教育・研究機関

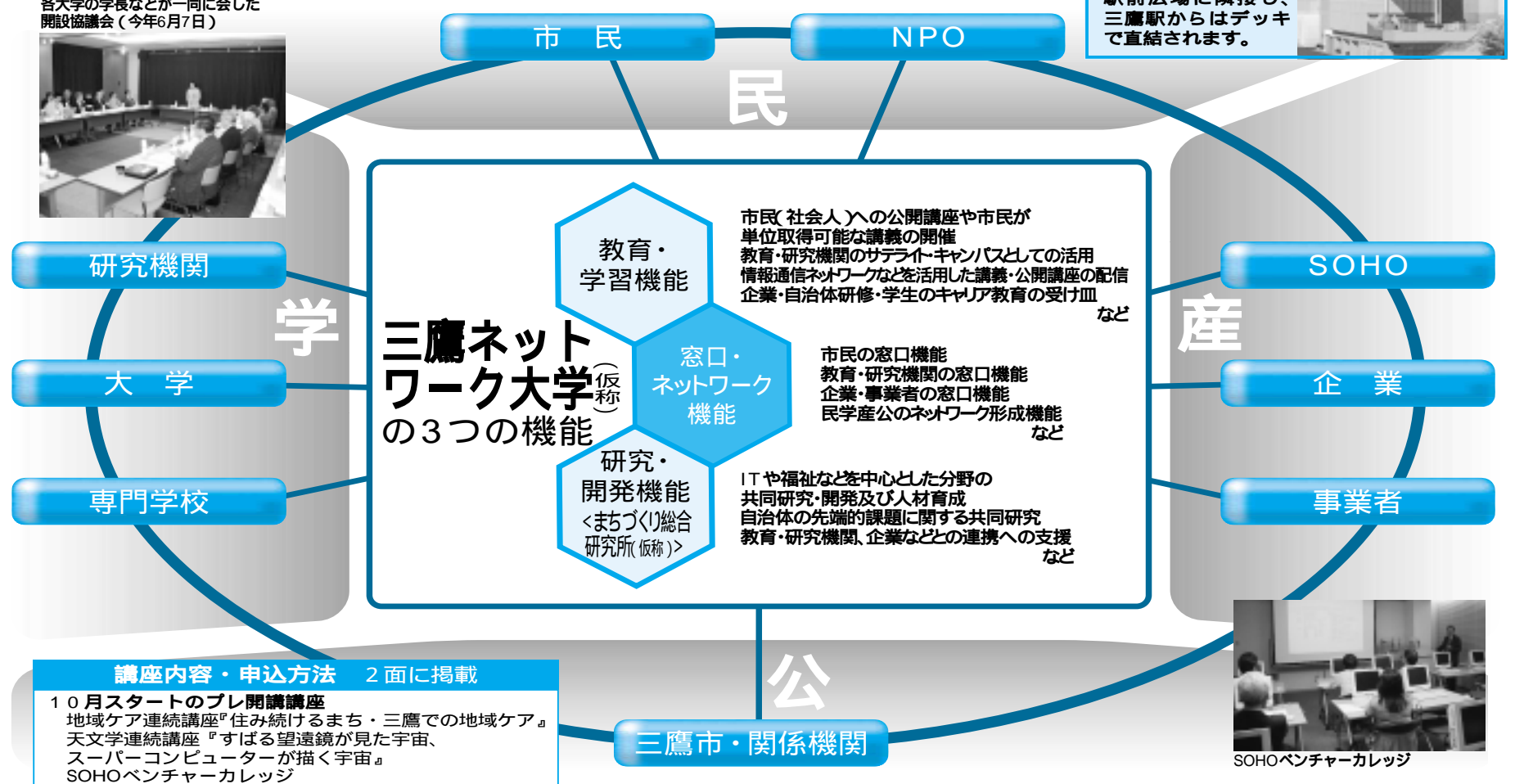
アジア・アフリカ文化財団 亜細亜大学 杏林大学 国際基督教大学 国立天文台
電気通信大学 東京工科大学 東京農工大学 日商簿記三鷹福祉専門学校
日本女子体育大学 法政大学 明治大学 ルーテル学院大学 (50音順)

中心となる駅前 キャンパス

三鷹駅南口に建設中の三鷹駅前協同ビル3階に「三鷹ネットワーク大学(仮称)」の駅前キャンパスが整備されます。現在拡張工事中の駅前広場に隣接し、三鷹駅からはデッキで直結されます。



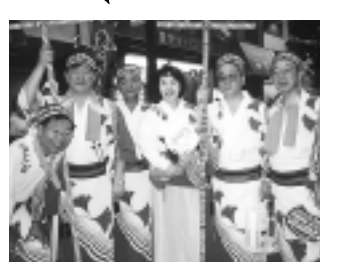
各大学の学長などが一同に会した開設協議会(今年6月7日)



SOHOベンチャーカレッジ

市長コラム

三鷹市長
清原慶子



地域を結ぶ支え合い

アテネオリンピックでは、三鷹市ゆかりの内柴正人選手(柔道66kg級)、鈴木桂治選手(柔道100kg級超級)、塚原直也選手(体操団体)が見事に金メダルを獲得され、大いに元気をいただきました。

8月21、22日は37回目を数える「三鷹阿波踊り大会」が、駅前中央通りで開かれ、私も「三鷹市役所連」の一員として、両助役と一緒に踊りの列に加わりました。沿道には、三鷹市が廃棄物の最終処分場をお願いしている日の出町の町民の皆さんも応援をしてくれました。「多摩はひとつなり」と呼ぶ事業で三鷹市が招待させていたいただき感謝しました。日の出町と三鷹を結ぶ支え合いの交流です。

当日はかねてより友人で、阿波踊りの本場でもある徳島県の飯泉知事から応援メッセージをいただきました。徳島県はこの夏台風で多くの被害を受けていることから置かれた会場の募金箱には、義援金が市民の皆さんから寄せられました。阿波踊りのご縁の徳島と三鷹を結ぶ支え合いの交流です。

8月末の東京都市長会では、来年2月の避難解除が決定された三宅村村民の帰島に向けた義援金について、積極的に取り組むことで一致しました。市長会は、区や町村と共に「東京都義援金事業配分委員会(委員長・東京都福永副知事)」の取り組みを推進します。帰島が決定される直前の7月初めに、私は三宅村の平野村長と懇談する機会を得ました。9月1日は三宅島全島避難4周年であり、都内に分散避難している村民の皆さんの帰島と復興への熱い思いを、村長のお話からひしひしと感じました。地域を結ぶ支え合いの心で、皆さんと応援していきたいと思えます。